

2016年国際航空宇宙展（JA2016）の開催せまる

第14回国際航空宇宙展（JA2016）の開会がいよいよ来る10月12日にせまってきた。今年には1966年に第1回目が開催されてから丁度50年目であり、東京での開催も16年振りである。本展示会において、近年、順調に成長が進んできている我が国航空宇宙産業の情報を発信するとともに、本展示会が世界的なビジネス拡大の起爆剤となるよう、関係者一同準備を進めてきた。ほぼ1か月後にせまってきた本展示会の最新状況について報告する。

1. 我が国国際航空宇宙展の歴史

（一社）日本航空宇宙工業会が国際航空宇宙展に関わるようになったのは、1966年に朝日新聞社が中心となって開催された「第1回東京航空宇宙ショー」に「エアショー協議会」の一員として参加したのが最初である¹⁾。当時、我が国航空工業界の再建が緒についたばかりであり、業界再建の促進及び国民的関心の高揚を図る目的であったとされる。

以来、本展示会は下記に示すように今回で第14回目、丁度50年目の節目を迎えるまでに至った。当初は航空自衛隊基地を活用させて頂く形で祭典が行われていたが、第8回目以

降は主として東京近郊の展示場を会場としたビジネス中心の展示会へと変遷している。

世界のエアショーとしては、100年前後の歴史を持ち、評価の定着したパリ（仏）、フアンボロ（英）、ベルリン（独）などのほか、ドバイ（UAE）、シンガポール、ソウル（韓）、モスクワ（露）、アバロン（豪）などがあり、いずれもほぼ2年毎に開かれている。その規模を出展社数で比較してみると、我が国を1とするならばパリが3、フアンボロが2、ベルリンとシンガポールがそれぞれ約1.5である。

| 回 | 開催年 | 開催場所 | 参加団体数 |
|----|------|-------------------|-----------|
| 1 | 1966 | 航空自衛隊入間基地 | 42 |
| 2 | 1968 | 航空自衛隊入間基地 | 96 |
| 3 | 1971 | 航空自衛隊小牧基地 | 177 |
| 4 | 1973 | 航空自衛隊入間基地 | 119 |
| 5 | 1976 | 航空自衛隊入間基地 | 123 |
| 6 | 1979 | 航空自衛隊入間基地 | 122 |
| 7 | 1983 | 航空自衛隊岐阜基地 | 110 |
| 8 | 1991 | 幕張メッセ | 259 |
| 9 | 1995 | 幕張メッセ | 282 |
| 10 | 2000 | 東京ビッグサイト | 297 |
| 11 | 2004 | パシフィコ横浜 | 346 |
| 12 | 2008 | パシフィコ横浜 | 529 |
| 13 | 2012 | ポートメッセなごや及び中部国際空港 | 636 |
| 14 | 2016 | 東京ビッグサイト | （目標）700以上 |

2. JA2016概要

(1) 開催準備状況

JA2016は10月12日（水）～15日（土）の間、東京ビッグサイト西展示棟全館で開催される。今回はJA2012での636を上回る700社・団体以上の出展を目標としてきたところ、7月31日時点で742社・団体に達し、今後もう少し出展企業数が増加する見込みである。また、開催地である東京都の特別協力を頂いているほか、経産省、防衛省、内閣府宇宙開発戦略推進事務局を始めとする各省庁やJAXA, NEDO, JETRO、その他英、米、仏、独、加などの各駐日大使館などからも後援を頂いている。

(2) JA2016の特色

- エアバスグループ、ベル・ヘリコプター・テキストロン社、ボーイング社、ロッキード・マーチン社、レオナルド・フィンメカニカ社などの海外大手企業と、各国駐日大使館がとりまとめる海外企業が数多く出展する日本唯一の展示会である。
- 各地方自治体や省庁等の支援による全国の中小企業群（クラスター）が大規模出展する。

- 仏専門会社によるビジネス商談会（BtoB）システムを、JA2012に引き続き採用。防衛装備庁（ATLA）が今回初めて、本格参加し、防衛関係中小企業の出展支援も行う。また、ATLAと航空自衛隊は各国高官を本展示会に招待することも検討している。

3. イベント紹介

(1) ビジネスマッチング

会期中の2日間、世界的に実績がある「BCIエアロスペース社」が運営する国際的なビジネス商談会を実施する。本商談会はJA2016出展者の特典（無料）である。

- 日程：2016年10月13日（木）及び14日（金）
- 参加方法：JA2016公式Webサイトから「BCIエアロスペース社」の商談会専用ページにログインし、参加できる。商談会実施場所は、出展者の各ブースまたは会場内に設置する商談会特設スペースである。また、参加バイヤーとしては、SJACの会員企業を始め、国内外の優良企業等が参加する予定。

| | 題目（予定） | 講師 |
|------|--|--|
| 基調講演 | 航空宇宙産業の展望と指針 13：10～13：35 | 経済産業省（講演者未定） |
| | 防衛装備庁発足1年を踏まえての課題と方向性 13：35～14：00 | 渡辺 秀明氏 防衛装備庁長官 |
| | 我が国の宇宙戦略 14：00～14：25 | 高田 修三氏 内閣府宇宙開発戦略推進事務局長 |
| 特別講演 | 日米協力に関して 14：45～15：10 | Marillyn Hewson 氏 米国航空宇宙工業会会長（LM社CEO） |
| | 日欧協力に関して 15：10～15：35 | Mauro Moretti 氏 欧州航空宇宙防衛工業会会長（Leonard社 CEO） |
| | 日本の航空宇宙産業 ～半世紀ぶりの国産旅客機を開発して～ 15：35～16：00 | 大宮 英明氏 三菱重工業(株)取締役会長 |

(2) セミナー

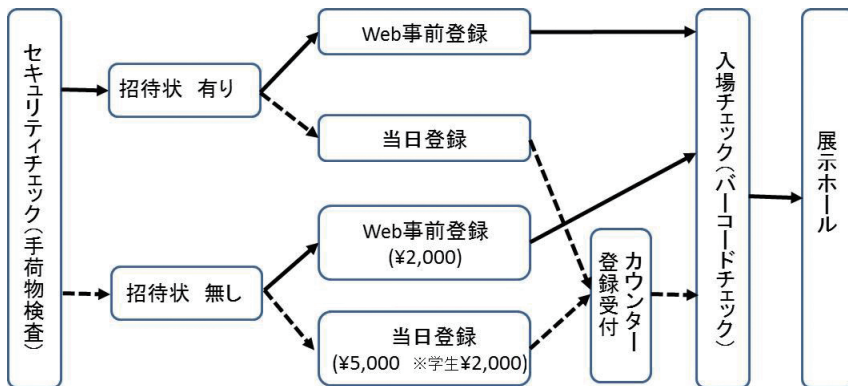
10月12日（水）、開会式、招待者プレビューアワー、オープングレセプションに引き続き、午後より表に示した記念講演を実施する。さらに、航空セミナー、防衛セミナー、宇宙セミナー等のセミナーシンポジウムを13日（木）及び14日（金）にわたり開催する予定である。完成機開発に関するものとしては三菱航空機(株)森本社長及びホンダエアクラフトカンパニー藤野社長にご講演頂く予定としている。また同時に、JAXA航空シンポジウム、航空機産業クラスターフォーラム（METI）、東大CMIシンポジウム等の併催イベントも計画している。その他、パブリックデーには中

高生向け館内ガイドツアー、山崎直子宇宙飛行士による講演会、航空自衛隊中央音楽隊による演奏会などを予定している。

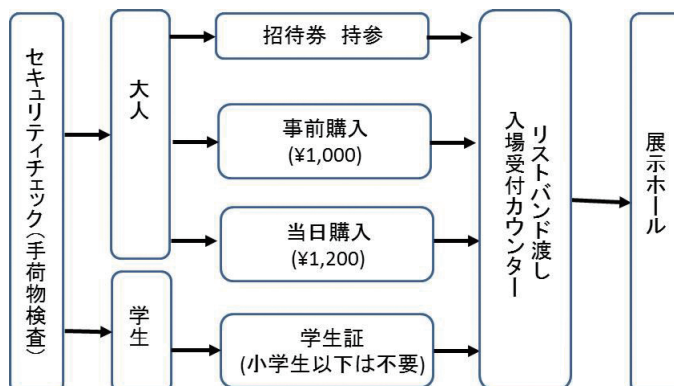
4. 入場方法など

入場にあたっては、10月12日（水）～14日（金）のトレードデーでは登録が必要だが、10月15日（土）のトレード／パブリックデーでは登録は不要である。公式Webサイトで事前登録を行えば、来場者は受付に並ばず、スムーズに入場可能である。また、今回からの試みとして多くの若年層に来場してもらえよう、土曜日のトレード／パブリックデーでは学生以下の入場は無料とすることとしたの

・10月12日（水）～14日（金）《登録制》



・10月15日（土）《登録不要》



で、ふるってご参加いただければと思っています。

公式Webサイトにおけるトレードデーの事前登録では、氏名等ご自身の情報と、招待状の「ID番号」を入力頂くと、登録完了後、「入場者証」及び「来場者マイページのログインID及びパスワード」がメールで送信されるので、入場者証をカラーでプリント後、ご持参いただきたい。また、講演、セミナーは「来場者マイページ」から聴講の事前予約が可能だが、空席があれば展示会への来場登録後聴講可能である。なお、招待状ID番号の使い回

しはできないので、ご注意いただきたい。

また、各出展社・団体におかれては、専用のハンディターミナル（有料レンタル）で、来場者の入場証バーコード情報を読み取り、後日リストとして来場者情報を入手できるサービスも利用できるもので、ご活用いただきたい。

参考文献

- 1) 日本の航空宇宙工業50年の歩み、(社)日本航空宇宙工業会、2003年5月

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 常務理事 山北 和之〕